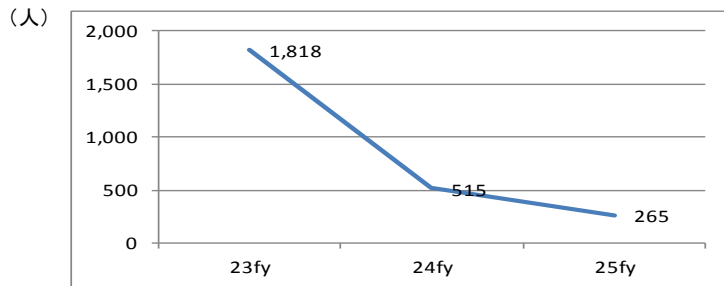


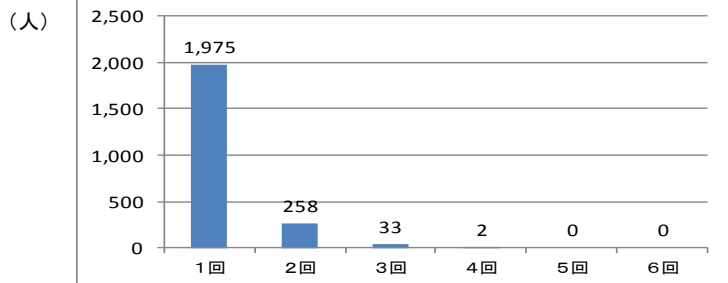
# ホールボディーカウンター受診の状況①

受診者数推移



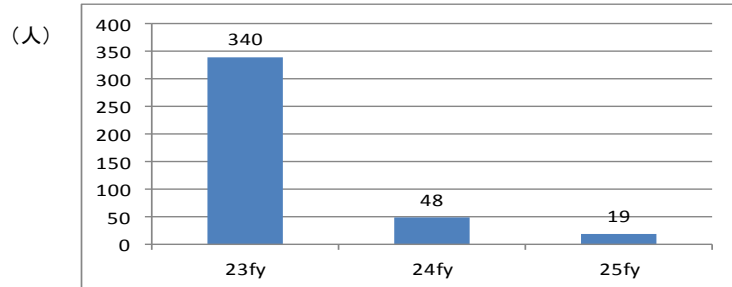
- 受診者数が漸減している。若年層の受診率が極端に減少していることが原因である（2ページ目にデータを示す）。

受診回数



- 複数受診者がおり、一部では関心の高さがうかがえる。多数回（3回、4回）受診している住民の年齢は、主に10歳代（6人）、20歳代（9人）であった。

Cs137検出人数

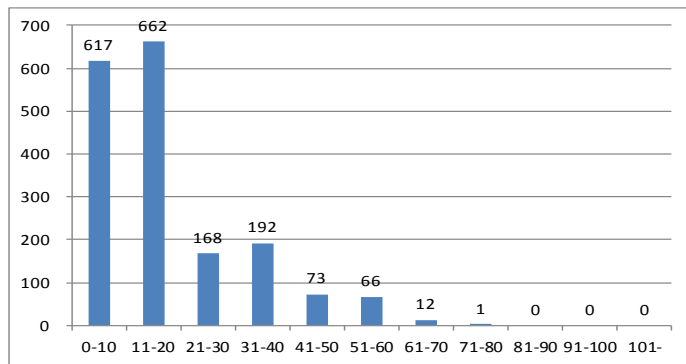


- Cs137検出人数は漸減。平成25年度にCs137が検出された方は、60歳代が最も多く（40歳未満はゼロ名、40歳台3名、50歳台5名、60歳台8名、70歳台5名）、最も高い値で720Bq/bodyであった。

# ホールボディーカウンター受診の状況②

(人)

平成23年度

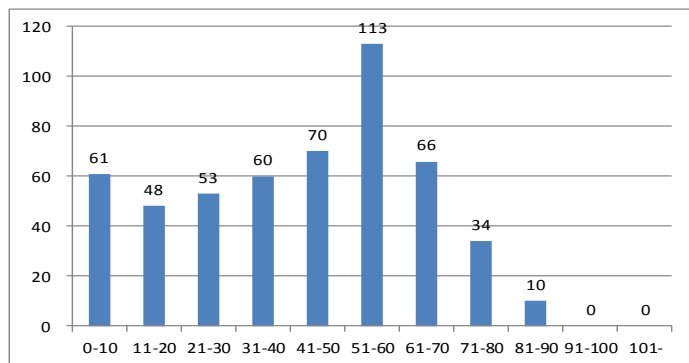


(年齢)

- 震災直後は20歳以下の受診が多かったが時間の経過とともに受診者数は減少。

(人)

平成24年度

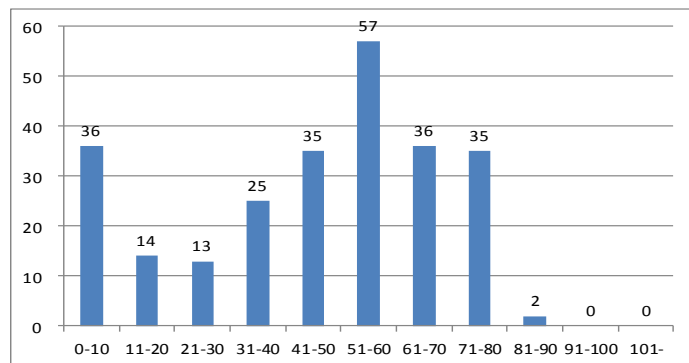


(年齢)

- 年を追うごとに50歳代を中心に受診する割合が高いという傾向に変化。

(人)

平成25年度



(年齢)